

経済、医療福祉などで第2次提言書提出

新型コロナウイルス調査対策特別委員会



新型コロナウイルス調査対策特別委員会は8日、第2次提言書をまとめ、議長に提出しました。第1次の緊急提言に続く今回の提言書は経済、医療福祉、教育の3分野に関して9項目を盛り込んでいます。

提言書では、「市民や事業者からは依然として切実な声が寄せられている」として、「国の持続化給付金の対象外となる中小企業や個人事業主を対象に、市独自の給付金制度を創設すること」「PCR検査センターの早期設置に向け、関係機関への働きかけなどの取組を強化すること。検査対象者の拡大（医療・介護施設等従事者）に向け努力すること」「病院、介護施設等における家族との面会の手法について、市として情報収集や研究をし、関係機関に助言を行うこと。また、オンラインでの面会の導入などに

助成を行うこと」「利用者減少による（病児保育施設）経営の悪化に対する支援を行うこと」などが盛り込まれています。

この提言は9日、飯塚議長から村山市長に提出されました。イラストは委員会での協議風景。



【コマツナギ】マメ科の小型低木。漢字で「駒繫」と書きます。馬をつなぎとめることができるほど茎はしっかりして、この名前が付けられたといわれます。花期は7月から9月。紅紫色の花を咲かせます。花言葉は「希望をかなえる」。写真は3日、吉川区代石にて撮りました。市道脇の日当たりのいい土手に生えていました。

表8 現上越斎場と新上越斎場の主な施設機能、諸室の比較

項目	現上越斎場	新上越斎場	備考	
延床面積	1,367.21 m ²	約2,350 m ²		
概要	火葬可能件数	1日	11件/日	14件/日以上
		午前10時～午後1時	6件/日	10件/日以上
火葬件数	2,067件/年	2,524件/年	122% 新上越斎場は見込み数	
火葬部門	火葬炉数	人体炉	4基	5基
		汚物炉	1基	無
	火葬時間 (火葬+冷却)	110分	75分	(参考) 告別10分、収骨20分
	火葬可能棺サイズ	L190cm×W56cm	(参考) L210cm×W65cm	頸北斎場 L215cm×W68cm
	炉前ホール	1室	3室	
	告別室(ホール)	1室	炉前ホールと兼用	
	収骨室	2室	2室	現斎場は実質1室使用
	霊安室	1体分	2体分以上	
待合部門	待合室	4室	5室	
	待合ホール	有	有	
	キッズコーナー	無	有	
	授乳室	無	有	現斎場は待合ホールの一角を区切って使用
	多目的室	無	有	
その他	祭場(忌中七日室)	有	無	
	売店	無	民間事業者の提案により検討	
駐車場	自動販売機	有	有	
	乗用車	16台	40台以上 (職員駐車場含む)	
	身障者用	1台	2台以上	
	マイクロバス	空いているところに駐車	5台以上	

※必要な主な諸室の比較であり、全ての諸室を掲載していない。

上越市は2日、新上越斎場建設事業基本構想(案)を厚生常任委員会の場で明らかにしました。新上越斎場の建設場所は、現上越斎場の市道を挟んだ北西側の土地で、概算事業費は約24億3千万円を見込んでいます。財源については、合併特別債

の活用を前提に、県との協議を継続することです。本年度中に基本構想の策定、用地取得を行い、令和5～6年度に本体建築工事、外溝工事、令和6年度中には供用開始する計画です。次号で厚生常任委員会での審査概要を報告します。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1967 2020.7.12

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL http://www.hose1.jp/



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第六一四回

キュウリの佃煮

親戚のキソウさんから「ハナはパツと咲いて早死にするぞ」と言われたのはどれくらい前だったのでしょうか。ハナさんは現在九一歳。耳がすっかり遠くなり、足腰も弱くなりましたが、まだまだ元気です。

先日、ハナさんを訪ねたところ、うれしそうに顔を上げてキュウリの佃煮のことも昔話などを次々と語ってくださいました。

ハナさんがキュウリの佃煮を作るきっかけとなったのは、十数年前の新潟日報の窓欄の記事です。長岡市のYさんの投稿でした。そこには、Yさんの義兄が作るキュウリの佃煮では、どういった材料がどれくらい必要か、どのように作るかだけでなく、作った時の反響まで書かれていました。

「これは私も作ってみよう」、この記事を読んだハナさんはすぐにキュウリの佃煮作りに挑戦します。そしてハナさんは、これまで十数年間にわたり、年四、五回のペースで作り続けてきたのです。

新聞の投稿記事の中にあつた「キュウリは三キロ」、「タカノツメは三、四本」など材料についての記述は紙に書き写し、それを見ながら作りました。いまでは、「みりん、三〇シーシー」「酢、一五〇シーシー」などすべてを記憶しています。

ただ、作り方については新聞記事をしっかり読み、料理好きのハナさんらしい工夫をしています。例えば、主たる材料のキュウリ。細かく切って一晩塩で殺し、洗濯機の脱水機能を使ってしぼっています。歳をとって力がなくなった分、頭を使っているんですね。そして、しぼったキュウリは大きなフライパンに入れて、焦げ付く寸前で汁を煮詰め、冷ましたところでパツとカツオ節を三袋入れているといいます。話を聞いていてだけでも佃煮の出来上がる様子が思い浮かんできます。

出来上がったキュウリの佃煮は美味しく、美味しいからこそ一年に何回も作りま

す。私もご馳走になりましたが、ご飯のおかずにしてもいいし、お酒のつまみにもいい。もちろん、お茶にも合います。ハナさんは、大量に作ったときはパツクに入れて冷凍庫にも保存しています。冷凍しておけば、急に旅からお客が来ることになったときなど、すぐに対応できるからです。冷たくなったキュウリの佃煮もいいものです。

ハナさんのキュウリの佃煮はハナさん宅の台所にじっとしてはいません。近くの親しい人に届けられます。静岡など遠くの親戚にも渡ります。そして、雲門寺の東堂さんなどお世話になった人のところにも。

ハナさんは戦中から昭和二五年までの六年七か月、埼玉県は桶川市のあるお宅で女中奉公をしていました。その家とは現在も交流が続いています。最近も生のキュウリとナスと一緒にキュウリの佃煮を送ったことでした。送られた人はうれいでしょうね。

驚いたのはキュウリの佃煮を先祖にも「贈っている」ということでした。わが家でも数十年前はそうでしたが、野菜などの初物がとれば、仏壇の先祖にまず供える、それから家の者が食べるという習慣がありました。ハナさんの家では、いまもそれを続けているのです。

ハナさんは自分と一緒に住んだ人たちの命日を大切にしています。一日は夫の命日、八日は夫の母親の命日、六日はまだ小学一年生という若さで亡くなった長女の命日、次々と命日のごとが語られました。キュウリの佃煮はこうした人たちにも「食べてもらっている」といえます。

楽しそうに語るハナさんの様子を見ていて、美味しいものを作るコツは人を大切にすることだと思いました。そういえば、ハナさんの姉のヒサさんからも正月に囲炉裏で串餅を食べさせてもらったことがあります。この姉妹は顔も心もつくすです。

県立病院がたくさんある理由も記述…「県立病院の歩み」

ニュースフラッシュ



4日、三条市で行われた日本共産党全県議員会議での藤野保史衆院議員の報告に引き込まれました。

その一つは、藤野議員も参加した新潟県厚生連グループ病院などいくつかの病院調査の中身です。病床の稼働率が80%を下回ると経営危機になる、人工呼吸器1台動かすには看護師10人が必要だ、など厳しい状況が次々と明らかにされたのです。

いま一つは、新潟県における地域医療の歩みについての歴史的考察です。戦前の日本医療団と県立病院へのつながりなどとても勉強になりました。「県立病院の歩み」という本はぜひ読んでみたいと思います。

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月1日(水)	7月8日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.047	0.053
新井消防署	0.043	0.057
頸北消防署	0.053	0.043
頸南消防署	0.050	0.070
東頸消防署	0.053	0.057
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.050	0.057

議会基本条例検証委員会がスタート

7月6日、議会基本条例検証委員会が開かれました。同条例は平成22年に制定され、平成24年9月から平成28年9月からの2回、検証委員会による検証が行われました。今回は3回目となります。

この日は委員長に栗田議員、副委員長に池田議員を選び、検証方針とスケジュールを決めました。

条例本文に記載されている「議会の活動原則」などの到達度の確認と条例や解説で見直すべき点があるかどうかの確認が検証委員会の主な任務です。

同検証委員会は今年中へ遅くとも今年度中に検証作業を終える予定です。委員が都合の悪いときは所属会派の他の議員と代わることもできます。